

III 調査の分析

1. 暮らしやイメージ、地域活動

(1) 住みよさの全体評価

問1 あなたは、今住んでいる入間市を住みよい所であると思いますか。それとも住みにくい所であると思いますか。次の中から1つ選んでください。

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせると、76.7%

住みよさの全体評価については、「どちらかといえば住みよい」が45.9%で最も高く、これに「住みよい」(30.8%)、「どちらかといえば住みにくい」(10.9%)、「どちらかといえば住みにくい」(8.9%)が続いている。「住みにくい」は、わずかに1.6%であった。

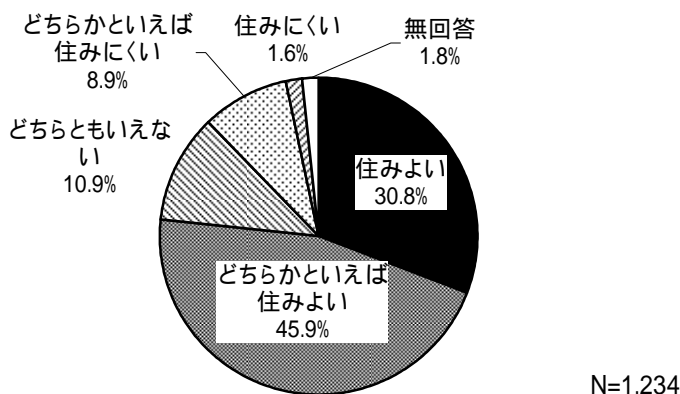


図 10 住みよさの全体評価

【経年変化】

「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合わせた割合が、平成20年は平成10年の約1.7倍に増加

経年変化をみると、平成10年から平成20年にかけて、「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」の割合が増加傾向にある。

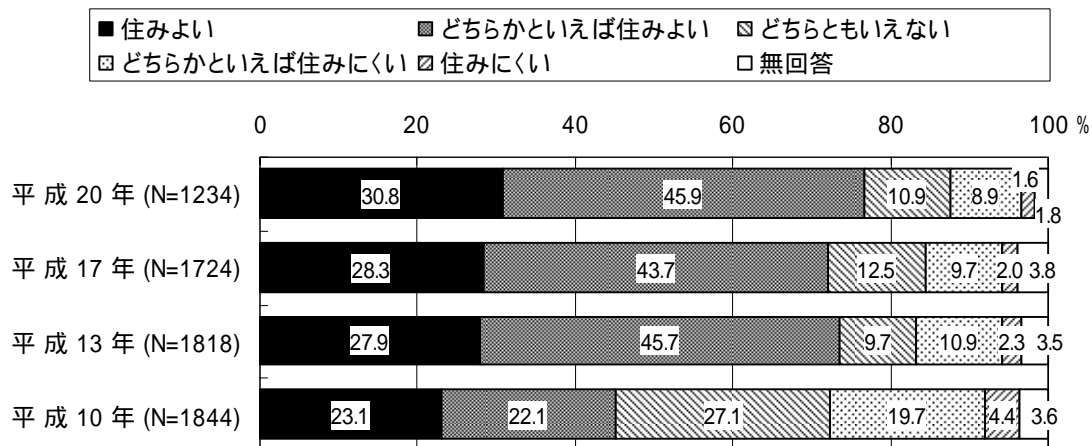


図 11 住みよさの全体評価(経年変化)

【属性別の傾向】

性別・年齢別では、「男性・70歳以上」(43.3%)と「女性・70歳以上」(37.5%)が、「住みよい」で高く、「女性・30歳代」(24.2%)と「男性・60歳代」(25.0%)が低くなっている。「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合せてみると、男性では、「20歳代」から「60歳代」にかけて低くなる傾向がみられる。居住地区別に「住みよい」と「どちらかといえば住みよい」を合せてみると、「藤沢地区」(83.8%)、「豊岡地区」(83.3%)、「西武地区」(78.5%)が高く、「東金子地区」(66.9%)、「宮寺・二本木地区」(60.6%)、「金子地区」(60.2%)が低くなっている。定住意識別では、「ずっと住んでいたい」(54.4%)が「住みよい」で高く、「できれば市外へ移りたい」が4.3%で低かった。

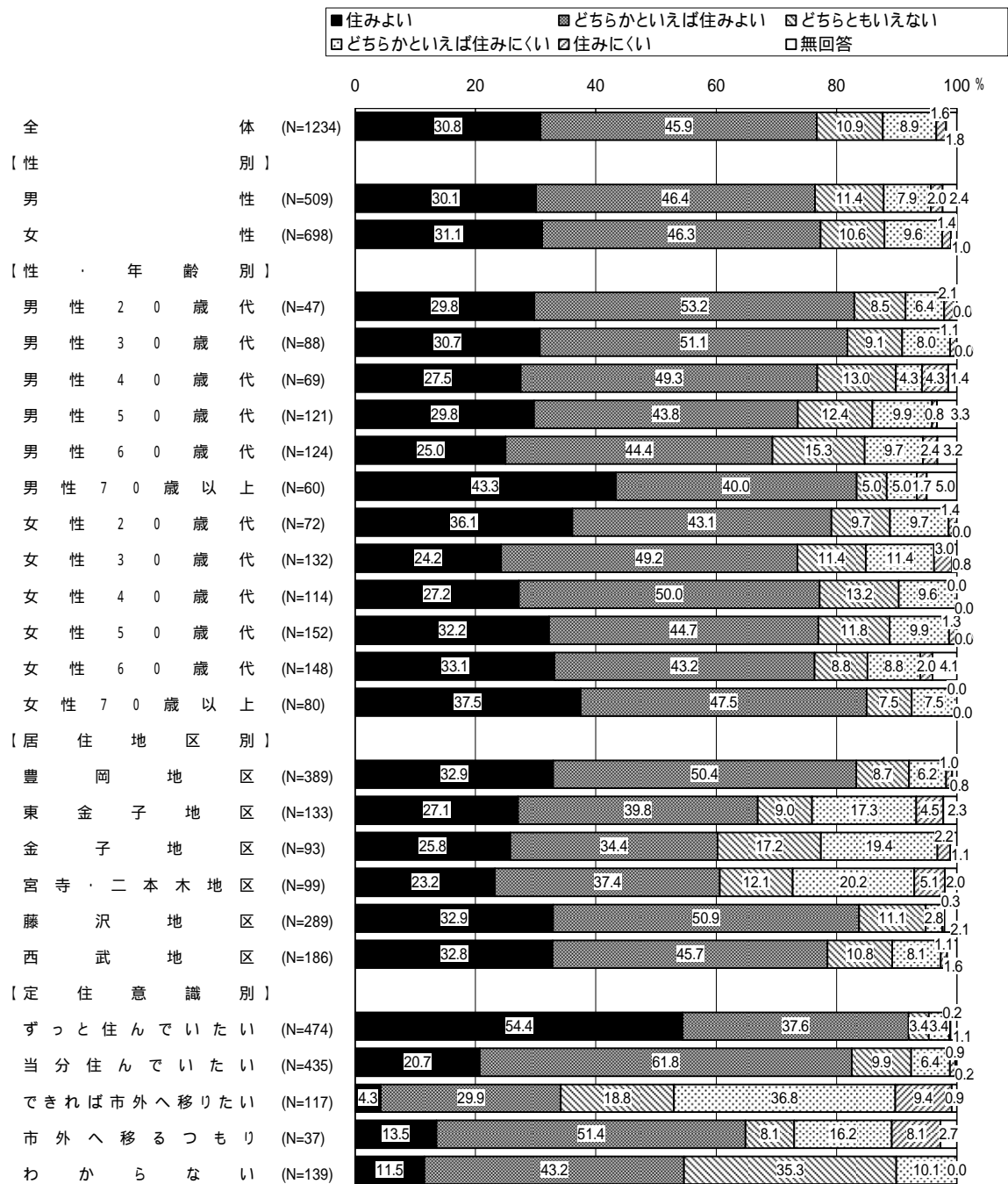


図 12 属性別に見た住みよさの全体評価

(2) 住みよい理由

問1-1 (問1で「1」「2」と答えた方に)
住みよいと思われる理由を1つ選んでください。

問1で947人が、「住みよい」または「どちらかといえば住みよい」と回答した。これらの人が「住みよい」と回答した理由については、「住みなれているから」が38.8%で最も高かった。これに、「買い物など毎日の生活に便利だから」(22.2%)、「自然環境がよいから」(13.6%)が続いている。

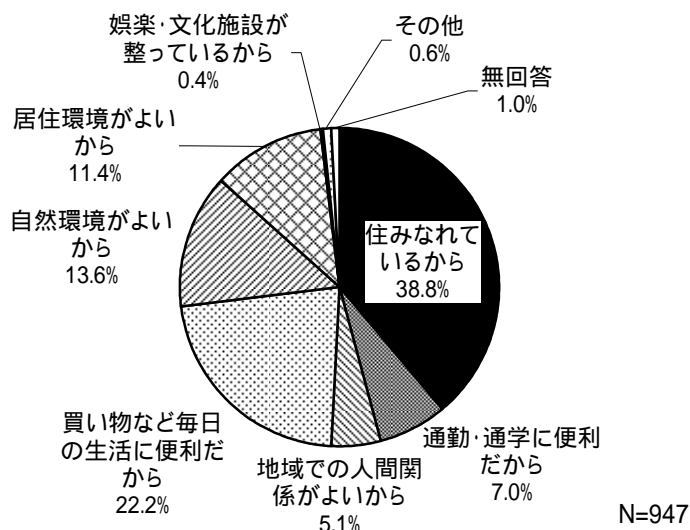


図 13 住みよい理由

【属性別の傾向】

男性では、年齢層が高くなるほど、「住みなれているから」の占める割合が低くなる傾向がみられる。

「買い物など毎日の生活に便利だから」に着目して、性別・年齢別をみると、男性では「70歳以上」(28.0%)が高く、「20歳代」(15.4%)が低くなっている。これに対し、女性では、「40歳代」(34.1%)が高く、「20歳代」(15.8%)が低いという結果であった。居住年数別では、「1年以上5年未満」(40.4%)が高く、「生まれてからずっと」(8.6%)が低くなっている。また、居住地区別では、「藤沢地区」(32.2%)が最も高く、「金子地区」(3.6%)が最も低いという結果であった。

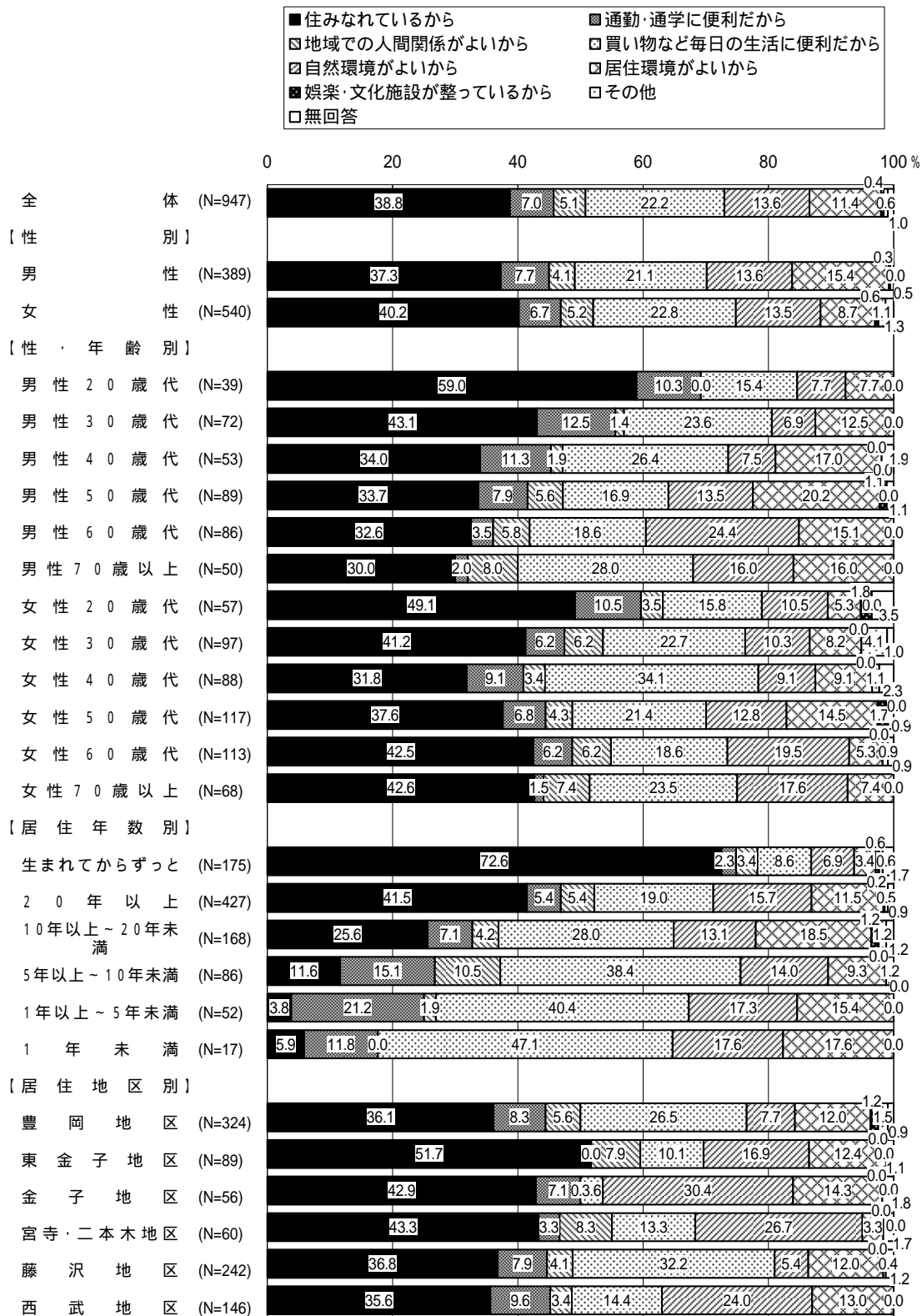


図 14 属性別に見た住みよい理由

(3) 住みにくい理由

問1-2 (問1で「4」「5」と答えた方に)
住みにくいと思われる理由を1つ選んでください。

問1で130人が、「どちらかといえば住みにくい」または「住みにくい」と回答している。これらの人が住みにくいと思う理由について、最も高かったのは、「通勤・通学に不便だから」(30.8%)で、これに「買い物など毎日の生活に不便だから」(23.1%)が続いている。

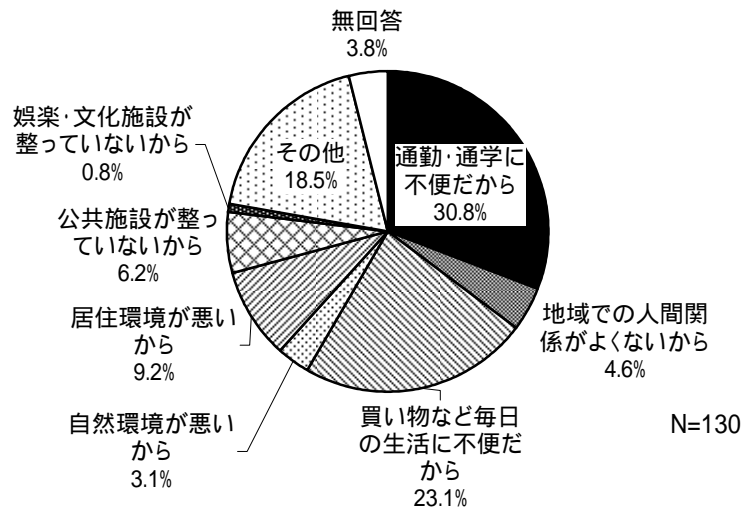


図 15 住みにくい理由

【属性別の傾向】

属性の性別をみると、「女性」(28.6%)が、「買い物など毎日の生活に不便だから」で「男性」(16.0%)を大きく上回っているのが特徴的である。

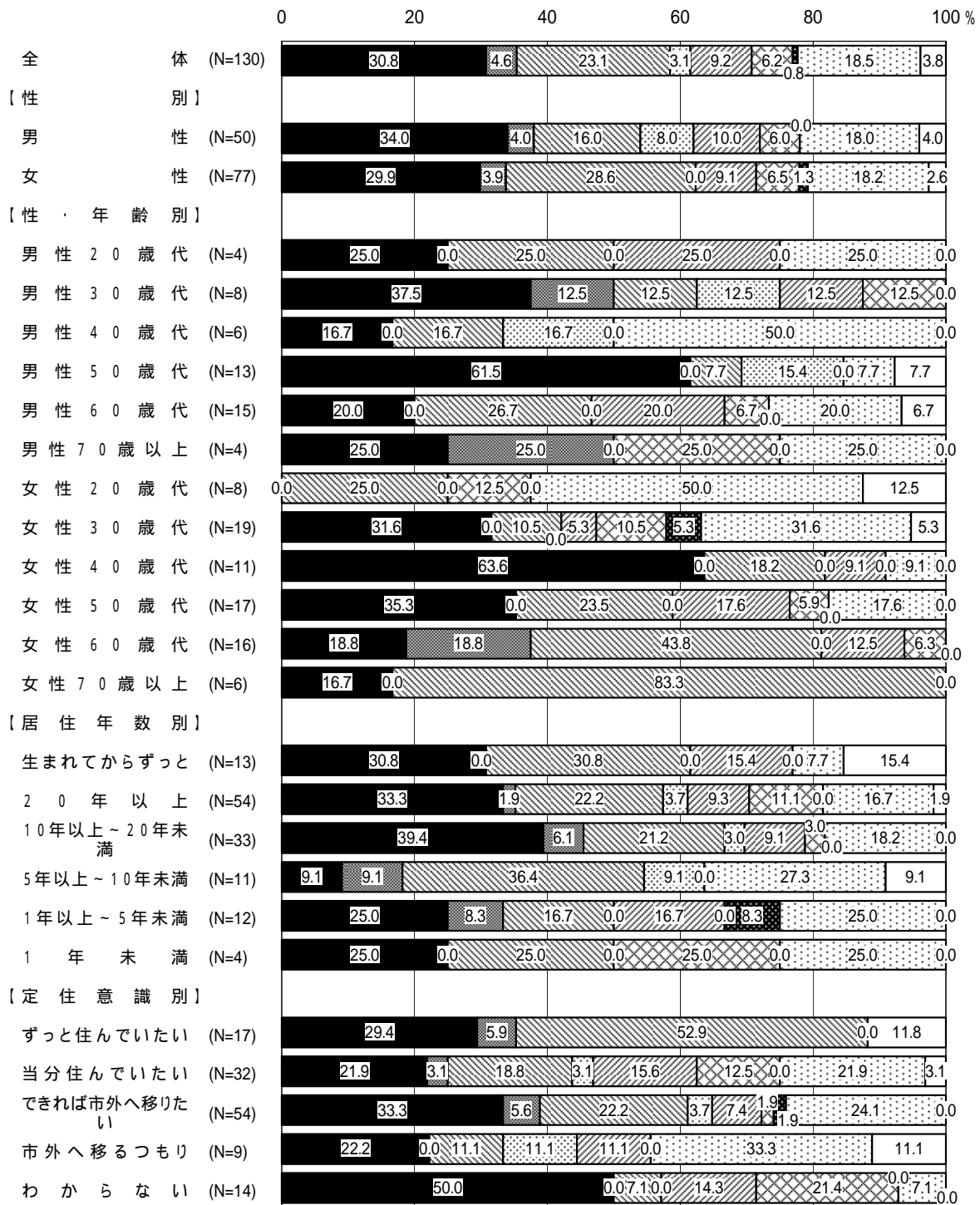
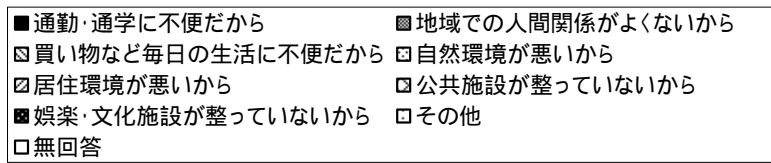


図 16 属性別に見た住みにくい理由

(4) 入間市に対する誇りや愛着

問2 あなたは、入間市に何か誇りとか、愛着のようなものを感じますか。次の中から1つを選んでください。

入間市に対する誇りや愛着では、「ふつう」が 43.9%を占めるという回答結果であった。これに、「ある程度感じる」(25.7%)、「あまり感じない」(19.9%)が続いており、「非常に感じる」は 5.9%であった。

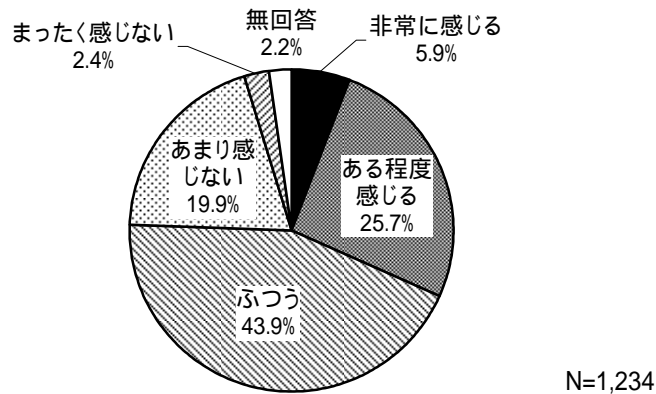


図 17 入間市に対する誇りや愛着

【経年変化】

平成 17 年と比べて、「非常に感じる」と「ある程度感じる」は若干高くなっている。

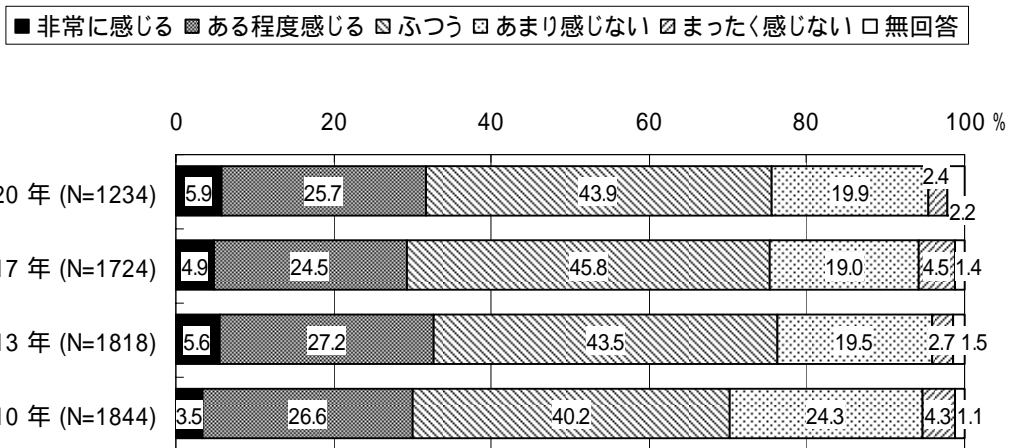


図 18 入間市に対する誇りや愛着(経年変化)

【属性別の傾向】

性別・年齢別では、「女性・20歳代」(44.4%)が「非常に感じる」と「ある程度感じる」を合わせた割合で、最も高いのに対し、「男性・70歳以上」(23.3%)が最も低くなっている。居住年数別では、年数が多いほど高い割合を示している。たとえば、「1年以上～5年未満」が 18.3%であったのに対し、「生まれてからずっと」では、46.8%となっている。職業別では、「自営している」(40.9%)が高く、「主婦(家事専業)」(31.1%)が低かった。また、定住意識別をみると、「ずっと住んでいたい」が 45.1%であったのに対し、「できれば市外へ移りたい」は 14.6%であった。

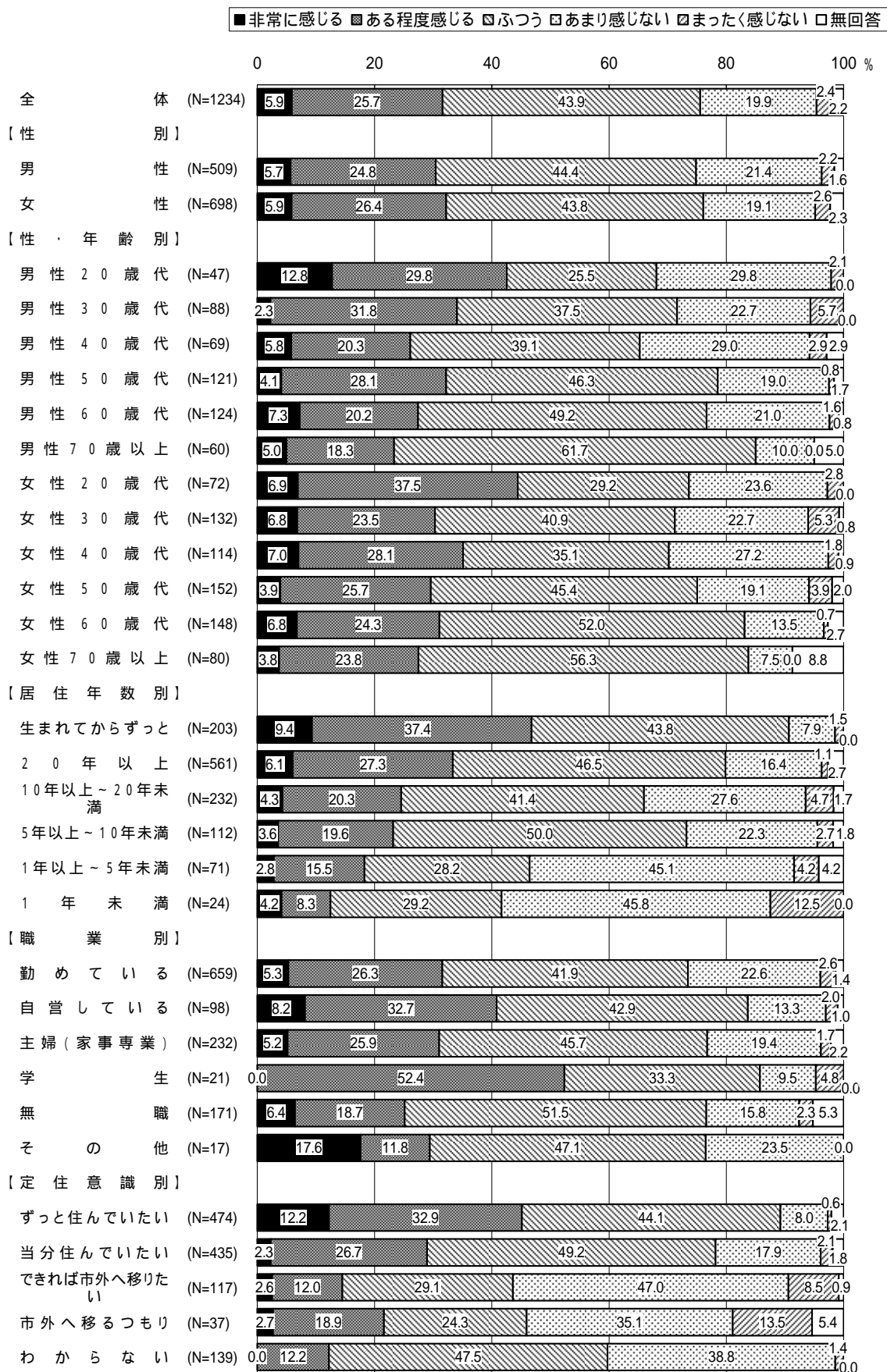


図 19 属性別に見た人間市に対する誇りや愛着

(5) 入間市の魅力

問3 あなたが入間市の環境や施設、景観、行事等の中で入間らしい魅力や個性を感じるものは何ですか。次の1～40の項目の中から7つまで選んでください。(複数回答)

入間市の魅力では、82.8%が「茶畑と狭山茶」をあげている。「茶畑と狭山茶」以外では、「入間万燈まつり」(59.5%)、「彩の森入間公園」(41.6%)、「加治丘陵」(32.6%)が高かった。

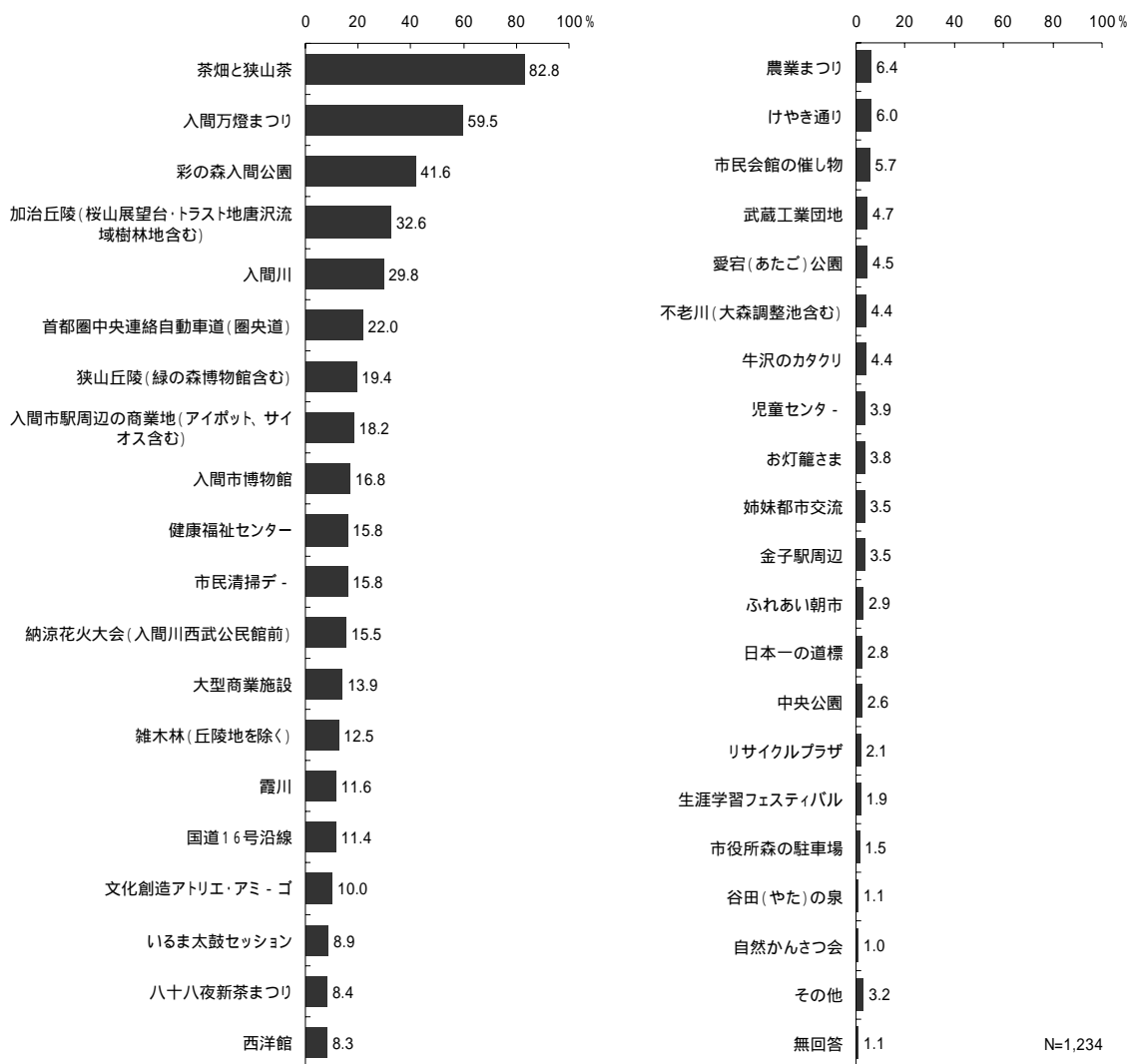


図 20 入間市の魅力

【属性別の傾向】

全体的に年齢層が高くなるほど、「加治丘陵(桜山展望台・トラスト地唐沢流域樹林地含む)」、「狭山丘陵(緑の森博物館含む)」、「入間市博物館」、「市民清掃デ-」、「彩の森入間公園」が高くなっている。たとえば、「男性・20歳代」をみると、「加治丘陵」が19.1%であったのに対し、「男性・70歳以上」では、45.0%となっている。また、「入間万燈まつり」で高い割合を示しているのは「女性・40歳代」(75.4%)と「女性・20歳代」(73.6%)であった。

表 1 属性別に見た入間市の魅力（上位 12 項目）

(単位:%)

属性		件数 (N)	茶畑と狭 山茶	入間万 燈まつり	彩の森 入間公 園	加治丘 陵(桜山 展望台・ トラスト地 唐沢流 域樹林 地含む)	入間川	首都圏 中央連 絡自動 車道(圏 央道)
全体		1,234	82.8	59.5	41.6	32.6	29.8	22.0
性別	男性	509	80.9	55.0	36.5	34.0	37.3	28.9
	女性	698	85.1	63.3	45.7	31.8	24.9	17.0
性・年 齢別	男性 20 歳代	47	76.6	66.0	34.0	19.1	42.6	17.0
	男性 30 歳代	88	72.7	47.7	33.0	23.9	34.1	28.4
	男性 40 歳代	69	82.6	68.1	42.0	29.0	40.6	27.5
	男性 50 歳代	121	85.1	56.2	27.3	41.3	41.3	33.9
	男性 60 歳代	124	82.3	49.2	41.9	37.1	35.5	32.3
	男性 70 歳以上	60	83.3	51.7	45.0	45.0	30.0	23.3
	女性 20 歳代	72	80.6	73.6	40.3	15.3	31.9	16.7
	女性 30 歳代	132	80.3	65.9	44.7	20.5	25.8	18.2
	女性 40 歳代	114	85.1	75.4	48.2	20.2	23.7	17.5
	女性 50 歳代	152	87.5	62.5	41.4	41.4	28.9	16.4
	女性 60 歳代	148	86.5	53.4	49.3	44.6	20.9	20.9
	女性 70 歳以上	80	90.0	52.5	50.0	40.0	18.8	8.8

(単位:%)

属性		件数 (N)	狭山丘 陵(緑の 森博物 館含む)	入間市 駅周辺 の商業 地(アイ ポット、サ イオス含 む)	入間市 博物館	健康福 祉センタ ー	市民清 掃デ -	納涼花 火大会 (入間川 西武公 民館前)
全体		1,234	19.4	18.2	16.8	15.8	15.8	15.5
性別	男性	509	20.8	17.9	14.3	13.2	13.9	14.3
	女性	698	18.2	18.8	18.2	17.5	17.3	16.0
性・年 齢別	男性 20 歳代	47	10.6	27.7	12.8	6.4	0.0	17.0
	男性 30 歳代	88	14.8	28.4	10.2	11.4	4.5	17.0
	男性 40 歳代	69	17.4	21.7	13.0	7.2	8.7	17.4
	男性 50 歳代	121	24.0	16.5	15.7	10.7	14.0	19.0
	男性 60 歳代	124	27.4	8.9	14.5	17.7	21.8	5.6
	男性 70 歳以上	60	21.7	11.7	20.0	23.3	28.3	13.3
	女性 20 歳代	72	9.7	33.3	23.6	11.1	8.3	18.1
	女性 30 歳代	132	16.7	18.9	12.9	17.4	3.8	21.2
	女性 40 歳代	114	12.3	26.3	17.5	7.9	10.5	15.8
	女性 50 歳代	152	20.4	14.5	16.4	11.2	19.1	18.4
	女性 60 歳代	148	25.7	12.2	20.3	30.4	24.3	10.8
	女性 70 歳以上	80	18.8	15.0	22.5	25.0	41.3	11.3

(6) 定住意識

問4 あなたは、これからもずっと人間市に住んでいたいと思いますか。それともよそに移りたいと思いますか。次の中から1つ選んでください。

70%を超える定住意向

定住意識については、「ずっと住んでいたい」(38.4%)と「当分住んでいたい」(35.3%)を合せると、73.7%を占めるという結果であった。また、「市外へ移るつもり」は3.0%で、「できれば市外へ移りたい」の9.5%を合せると、12.5%となっている。

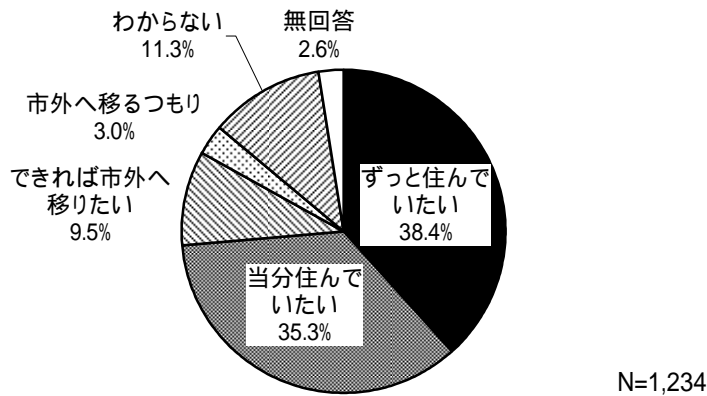


図 21 定住意識

【経年変化】

定住意識については、平成 10 年から平成 20 年にかけて、「ずっと住んでいたい」と「当分住んでいたい」が増加傾向にある。

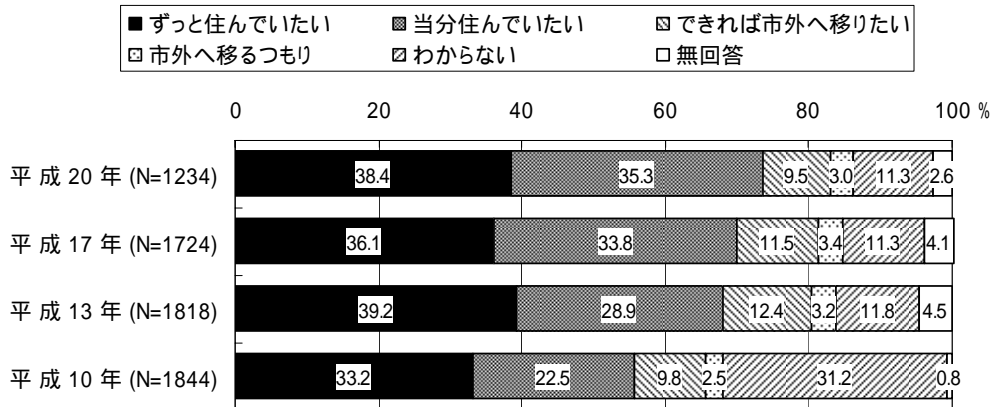


図 22 定住意識(経年変化)

【属性別の傾向】

性別・年齢別の男性では「70歳以上」が、「ずっと住んでいたい」(60.0%)で高かったのに対し、「30歳代」(29.5%)では低かった。同じように、女性でも「70歳以上」と「40歳代」が、それぞれ63.8%、24.6%となっている。居住年数別では、「生まれてからずっと」が、53.7%で高く、「1年以上～5年未満」が23.9%で低かった。また、職業別では、「自営している」と「勤めている」が、それぞれ50.0%、31.9%で、18.1ポイントの差がみられた。居住地区別では、大きな特徴はみられなかった。

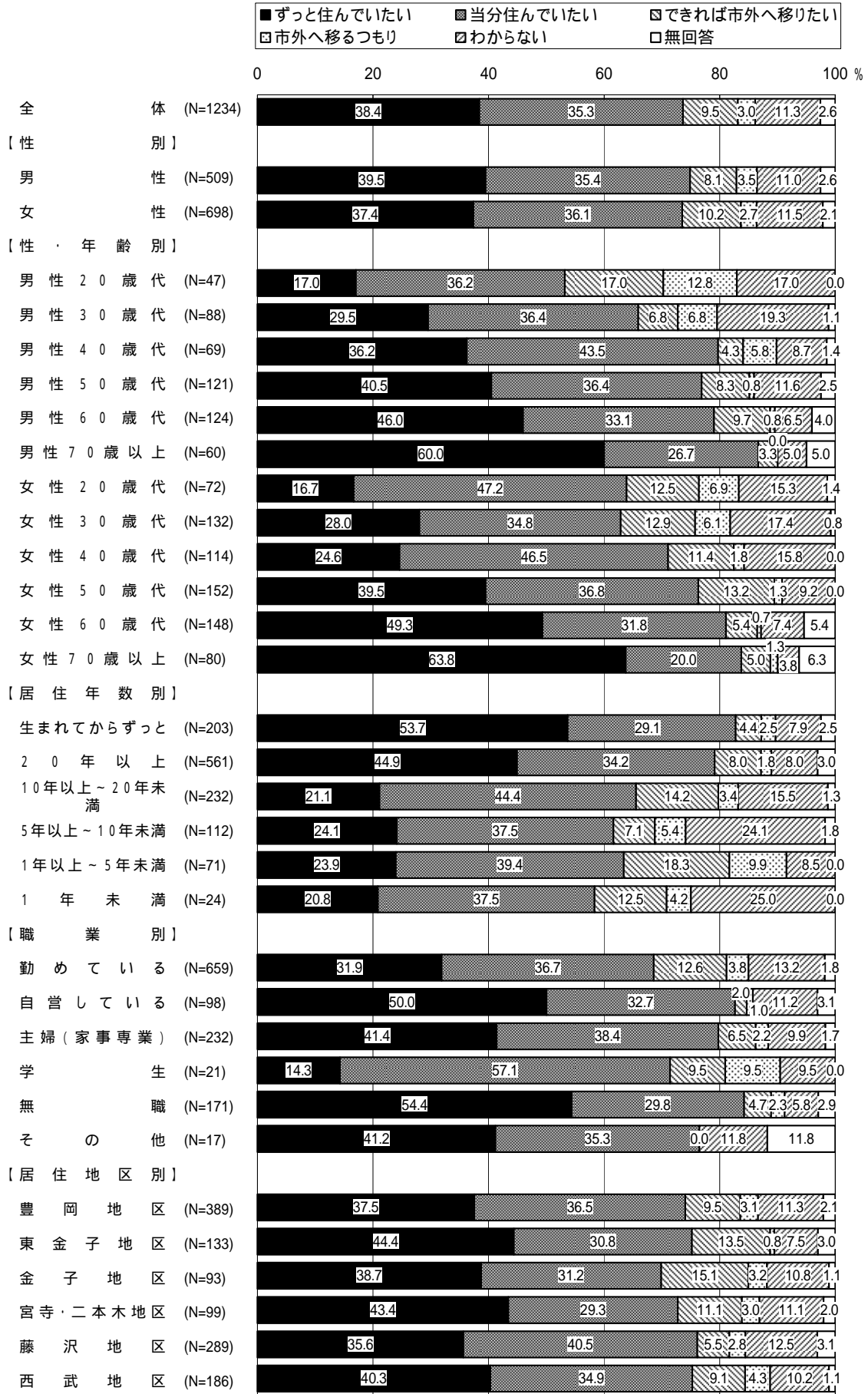


図 23 属性別に見た定住意識

(7) 住み続けたい理由

問4-1 (問4で「1」「2」と答えた方に)
住み続ける理由を2つまで選んでください。(複数回答)

問4で、909人が「ずっと住んでいたい」または「当分住んでいたい」と回答した。「住んでいたい」理由としては、「自分の家(土地)だから」が59.2%で高く、これに「住みなれているから」(49.8%)、「買い物など毎日の生活に便利だから」(24.0%)が続いている。

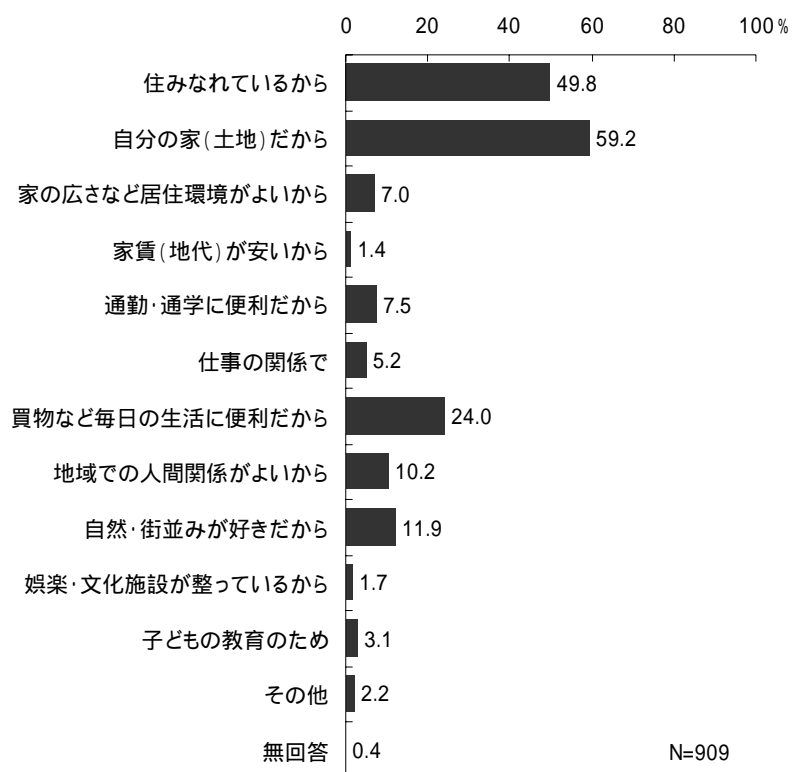


図 24 住み続けたい理由

【属性別の傾向】

年齢層が高くなるほど、「自分の家(土地)だから」が占める割合が高くなる傾向がみられる。たとえば、「男性・30歳代」が55.2%であったのに対し、「男性・70歳以上」では73.1%となっている。また、「男性・30歳代」が、「住みなれているから」(65.5%)で、「男性・70歳以上」が「買い物など毎日の生活に便利だから」(40.4%)で高かった。

表 2 属性別に見た住み続けたい理由

(単位:%)

属性		件数 (N)	住みな れている から	自分の 家(土 地)だか ら	家の広 さなど居 住環境 がよい から	家賃(地 代)が安 いから	通勤・通 学に便 利だか ら	仕事の 関係で	買物な ど毎日 の生活 に便利 だから
全体		909	49.8	59.2	7.0	1.4	7.5	5.2	24.0
性別	男性	381	50.4	61.7	5.0	1.3	8.4	7.1	22.3
	女性	513	50.3	57.1	8.6	1.4	6.8	3.7	25.0
性・年 齢別	男性 20 歳代	25	56.0	28.0	0.0	0.0	16.0	12.0	24.0
	男性 30 歳代	58	65.5	55.2	6.9	0.0	12.1	3.4	12.1
	男性 40 歳代	55	47.3	58.2	0.0	1.8	20.0	16.4	16.4
	男性 50 歳代	93	46.2	65.6	4.3	0.0	6.5	6.5	23.7
	男性 60 歳代	98	42.9	66.3	7.1	2.0	4.1	7.1	20.4
	男性 70 歳以上	52	55.8	73.1	7.7	3.8	0.0	0.0	40.4
	女性 20 歳代	46	71.7	26.1	6.5	2.2	17.4	0.0	23.9
	女性 30 歳代	83	49.4	49.4	6.0	0.0	10.8	2.4	21.7
	女性 40 歳代	81	40.7	51.9	7.4	0.0	7.4	6.2	32.1
	女性 50 歳代	116	50.0	59.5	12.9	0.9	5.2	6.0	25.0
	女性 60 歳代	120	50.0	68.3	5.8	4.2	4.2	2.5	22.5
	女性 70 歳以上	67	49.3	70.1	11.9	0.0	1.5	3.0	25.4

(単位:%)

属性		件数 (N)	地域で の人間 関係が よいから	自然・街 並みが 好きだ から	娯楽・文 化施設 が整っ ている から	子ども の教育 のため	その他	無回答
全体		909	10.2	11.9	1.7	3.1	2.2	0.4
性別	男性	381	8.4	11.0	2.4	1.6	2.1	0.8
	女性	513	11.7	12.7	1.2	4.1	2.3	0.2
性・年 齢別	男性 20 歳代	25	8.0	20.0	4.0	0.0	4.0	0.0
	男性 30 歳代	58	5.2	6.9	1.7	3.4	1.7	1.7
	男性 40 歳代	55	3.6	12.7	1.8	5.5	0.0	0.0
	男性 50 歳代	93	8.6	11.8	2.2	0.0	3.2	1.1
	男性 60 歳代	98	14.3	13.3	4.1	1.0	2.0	1.0
	男性 70 歳以上	52	5.8	3.8	0.0	0.0	1.9	0.0
	女性 20 歳代	46	6.5	21.7	4.3	2.2	2.2	0.0
	女性 30 歳代	83	12.0	12.0	1.2	10.8	2.4	0.0
	女性 40 歳代	81	13.6	13.6	0.0	9.9	4.9	0.0
	女性 50 歳代	116	8.6	12.9	0.9	1.7	0.9	0.0
	女性 60 歳代	120	14.2	12.5	0.8	0.8	2.5	0.0
	女性 70 歳以上	67	13.4	6.0	1.5	0.0	1.5	1.5

(8) 市外へ移りたい理由

問4-2 (問4で「3」「4」と答えた方に)

市外へ移りたいと思われる理由を2つまで選んでください。(複数回答)

問4で、154人が「できれば市外へ移りたい」または「市外へ移るつもり」と回答している。「市外へ移る」理由としては、「通勤・通学に不便だから」(33.8%)、「買い物など毎日の生活に不便だから」(19.5%)、「家が狭いなど居住環境がよくないから」(14.9%)、「自分の家(土地)でないから」(13.0%)をあげる人が高かった。

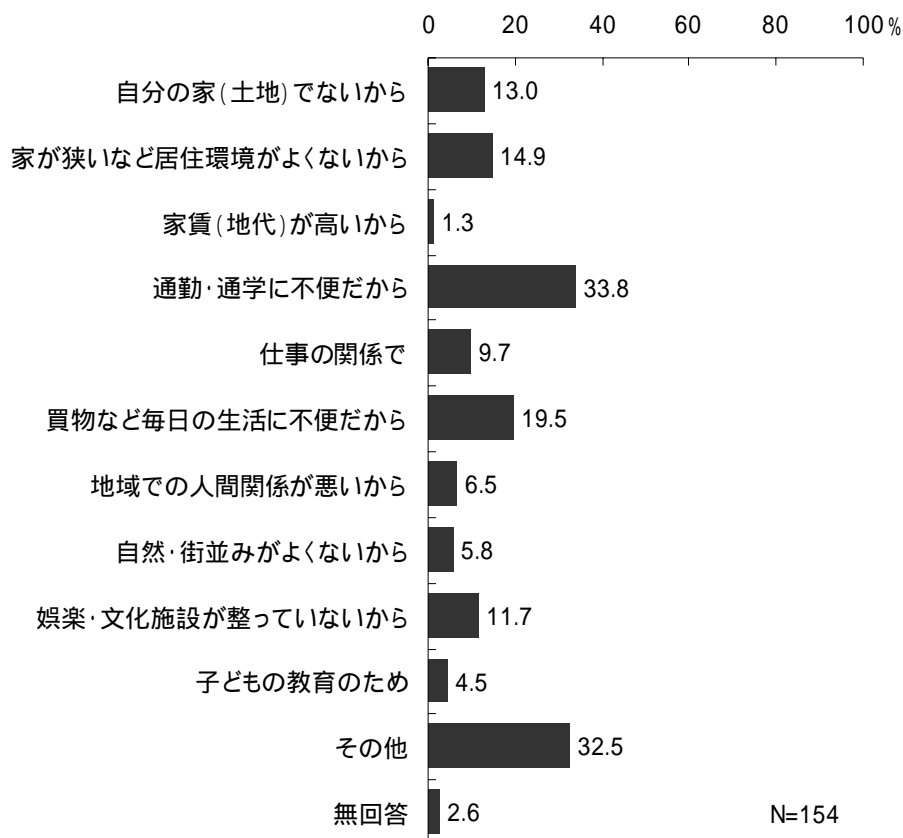


図 25 市外へ移りたい理由

【属性別の傾向】

「男性」(20.3%)が、「自分の家(土地)でないから」で高いのに対し、「女性」(7.8%)では低くなっている、また、「女性」(27.8%)が、「買い物など毎日の生活に不便だから」で高く、「男性」(6.8%)が低かった。

表 3 属性別に見た市外へ移りたい理由

(単位:%)

属性		件数 (N)	自分の 家(土 地)でな いから	家が狭 いなど居 住環境 がよくな いから	家賃(地 代)が高 いから	通勤・通 学に不 便だから	仕事の 関係で	買物など 毎日の 生活に 不便だ から
全体		154	13.0	14.9	1.3	33.8	9.7	19.5
性別	男性	59	20.3	5.1	1.7	33.9	15.3	6.8
	女性	90	7.8	21.1	1.1	34.4	6.7	27.8
性・年齢別	男性 20 歳代	14	21.4	0.0	0.0	50.0	42.9	14.3
	男性 30 歳代	12	41.7	0.0	0.0	25.0	8.3	0.0
	男性 40 歳代	7	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	0.0
	男性 50 歳代	11	0.0	9.1	9.1	63.6	0.0	9.1
	男性 60 歳代	13	7.7	7.7	0.0	23.1	0.0	7.7
	男性 70 歳以上	2	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	女性 20 歳代	14	21.4	21.4	0.0	35.7	7.1	21.4
	女性 30 歳代	25	4.0	20.0	4.0	28.0	4.0	24.0
	女性 40 歳代	15	6.7	26.7	0.0	53.3	6.7	20.0
	女性 50 歳代	22	0.0	18.2	0.0	36.4	9.1	27.3
	女性 60 歳代	9	11.1	33.3	0.0	33.3	0.0	44.4
	女性 70 歳以上	5	20.0	0.0	0.0	0.0	20.0	60.0

(単位:%)

属性		件数 (N)	地域で の人間 関係が 悪いから	自然・街 並みがよ くないか ら	娯楽・文 化施設 が整って いないか ら	子どもの 教育の ため	その他	無回答
全体		154	6.5	5.8	11.7	4.5	32.5	2.6
性別	男性	59	5.1	10.2	13.6	3.4	30.5	3.4
	女性	90	7.8	3.3	10.0	5.6	34.4	2.2
性・年齢別	男性 20 歳代	14	7.1	7.1	14.3	0.0	14.3	0.0
	男性 30 歳代	12	0.0	0.0	16.7	0.0	33.3	8.3
	男性 40 歳代	7	0.0	28.6	14.3	0.0	42.9	0.0
	男性 50 歳代	11	18.2	9.1	0.0	9.1	9.1	9.1
	男性 60 歳代	13	0.0	15.4	23.1	7.7	53.8	0.0
	男性 70 歳以上	2	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	女性 20 歳代	14	0.0	7.1	7.1	0.0	21.4	0.0
	女性 30 歳代	25	0.0	4.0	12.0	12.0	52.0	4.0
	女性 40 歳代	15	6.7	6.7	0.0	0.0	20.0	6.7
	女性 50 歳代	22	9.1	0.0	9.1	9.1	40.9	0.0
	女性 60 歳代	9	33.3	0.0	22.2	0.0	22.2	0.0
	女性 70 歳以上	5	20.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0

(9) 近所づきあい

問5 あなたは、ふだんどのような近所づきあいをしていますか。次の中から1つ選んでください。

ふだんの近所づきあいでは、「たまに立ち話をするくらいである」(32.1%)と「道で会えばあいさつをする程度である」(32.1%)が高かった。また、「困った時などお互いに助け合っている」は、19.7%であった。

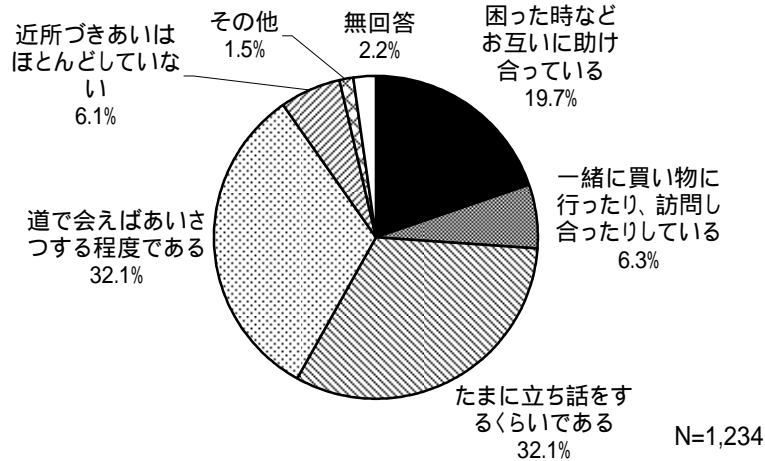


図 26 近所づきあい

【経年変化】

平成 17 年と比べると、平成 20 年は「道で会えばあいさつする程度である」が低く、「近所づきあいはほとんどしていない」が高くなっている。

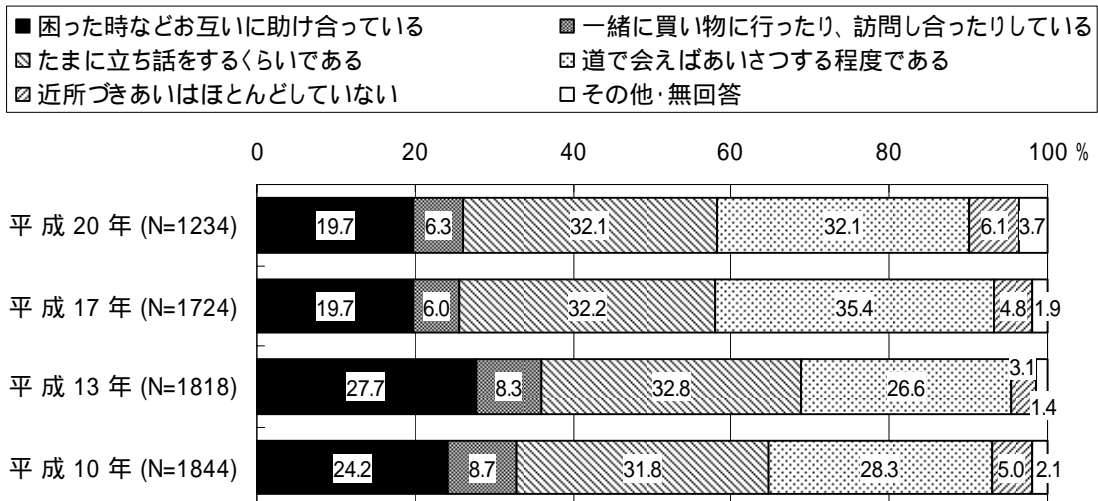


図 27 近所づきあい(経年変化)

【属性別の傾向】

「近所づきあい」については、性別・年齢別に傾向がみられる。男性・女性ともに年齢層が高くなるほど、「困った時などお互いに助け合っている」の割合が高くなっているのに対し、「道で会えばあいさつする程度である」が低くなる傾向を示している。たとえば、「男性・30歳代」

が、「困った時などお互いに助け合っている」で 5.7%であったのに対し、「男性・70 歳以上」では 30.0%となっている。同じように、「女性・20 歳代」と「女性・70 歳以上」を比べると、それぞれ 6.9%と 42.5%となっている。一方、「男性・30 歳代」が、「道で会えばあいさつする程度である」で 55.7%、「男性・70 歳以上」が 31.7%となっている。また、「女性・20 歳代」と「女性・70 歳以上」では、それぞれ 50.0%、10.0%であった。定住意識別をみると、「ずっと住んでいたい」(31.6%)が、「困った時などお互いに助け合っている」で高く、「できれば市外へ移りたい」(7.7%)が低くなっている。

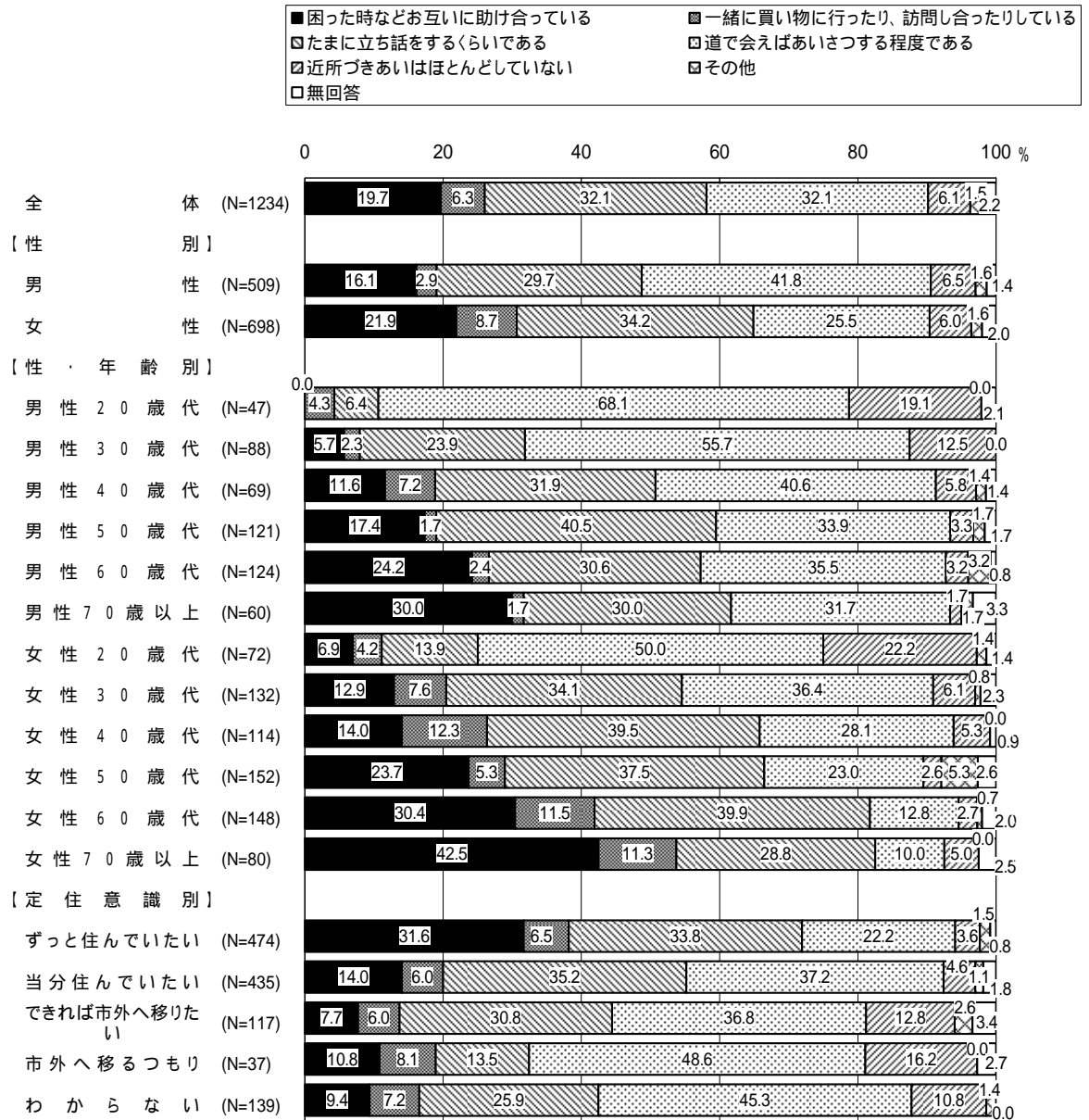


図 28 属性別に見た近所づきあい

(10) 地域活動

問6 あなたは、自治会や町内会、などの地域活動にどの程度参加をしていますか。次の中から1つ選んでください。

地域活動については、「どちらかという、積極的に参加している」が25.5%で最も高かったが、「どちらかという、消極的である」も22.6%を占めるという結果であった。また、「どちらともいえない」は、22.1%であった。

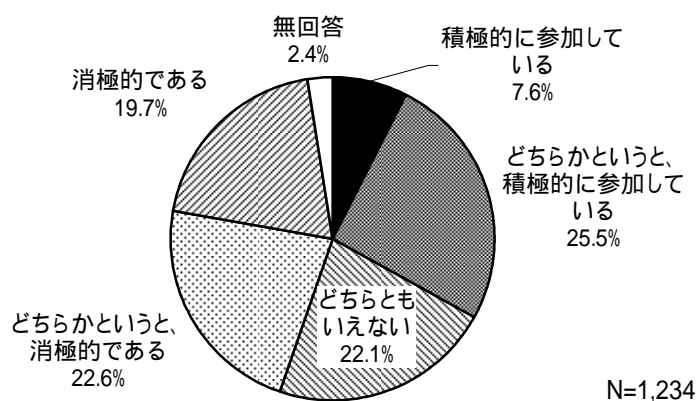


図 29 地域活動

【属性別の傾向】

「男性・70歳以上」(50.0%)、「男性・60歳代」(46.8%)、「女性・70歳以上」(53.8%)が、「積極的に参加している」と「どちらかという、積極的に参加している」を合わせた割合が高く、「男性・30歳代」(18.2%)、「女性20歳代」(5.6%)では低くなっている。居住年数別では、「20年以上」(37.0%)が高く、「1年以上～5年未満」(18.3%)が低かった。居住地区別をみると、「宮寺・二本木地区」(50.5%)、「金子地区」(45.2%)、「東金子地区」(40.6%)が高く、「豊岡地区」(28.0%)、「藤沢地区」(28.0%)、「西武地区」(32.3%)で低くなっている。

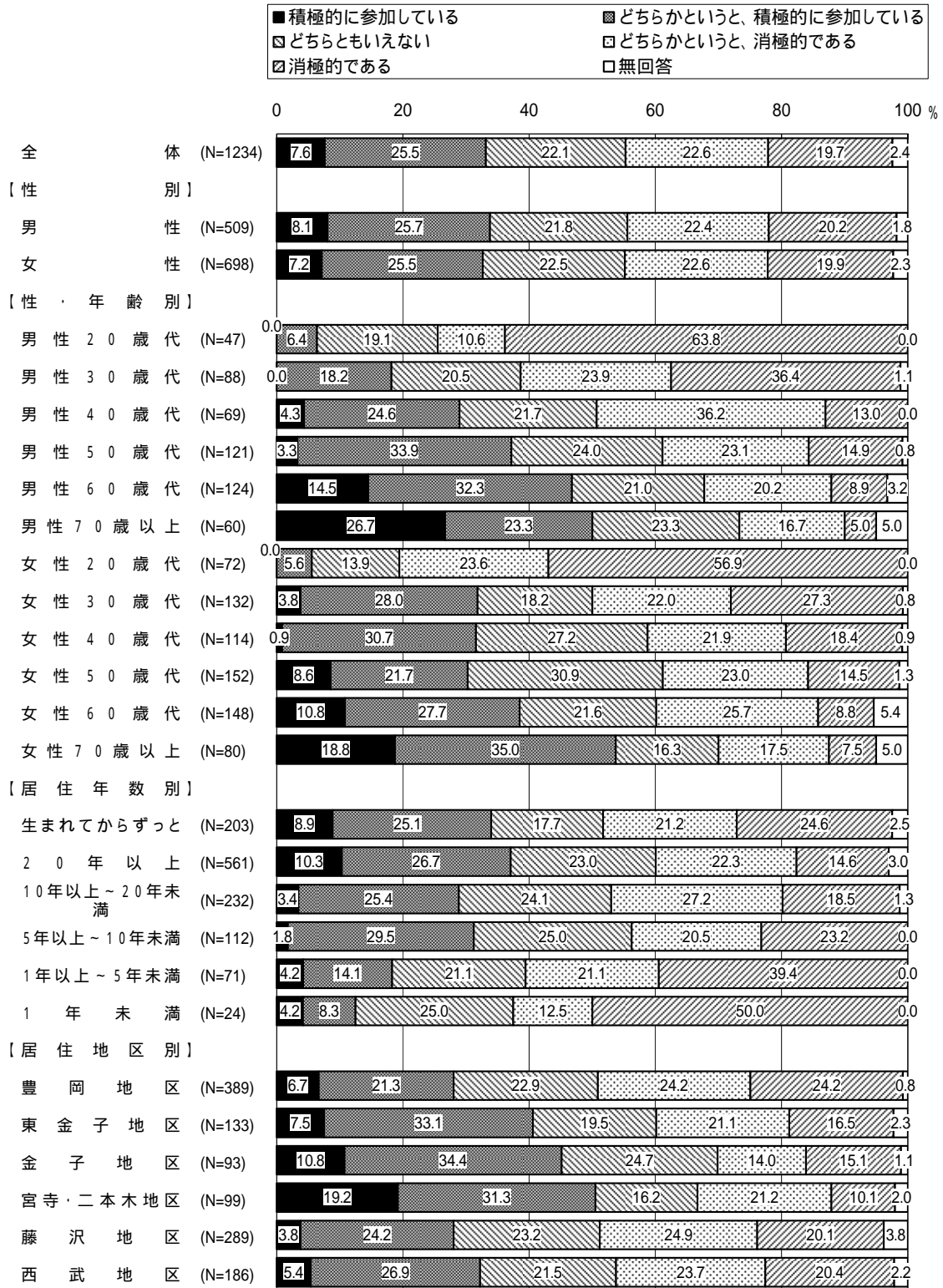


図 30 属性別に見た地域活動

(11) 参加する理由

問6-1 (問6で「1」「2」と答えた方に)
参加する主な理由を1つ選んでください。

問6で、409人が「積極的に参加している」または「どちらかという、積極的に参加している」と回答している。その理由として、「地域で暮らす人としての責任だと思ふから」をあげる人が多く、51.1%を占める結果であった。これに、「地域の人とコミュニケーションを進めることができる」が、34.7%で続いている。

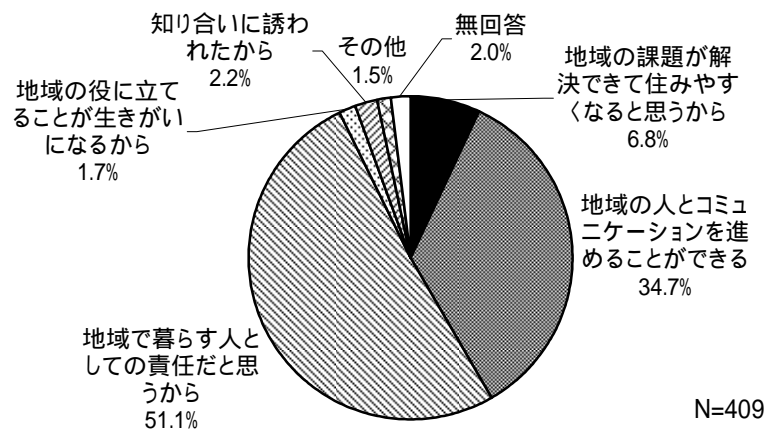


図 31 参加する理由

【属性別の傾向】

属性別の性別では、総じて全体の結果と類似した傾向を示しており、大きな特徴はみられなかった。

■地域の課題が解決できて住みやすくなると思うから ■地域の人とコミュニケーションを進めることができる
 □地域で暮らす人としての責任だと思うから □地域の役に立てることが生きがいになるから
 □知り合いに誘われたから □その他
 □無回答

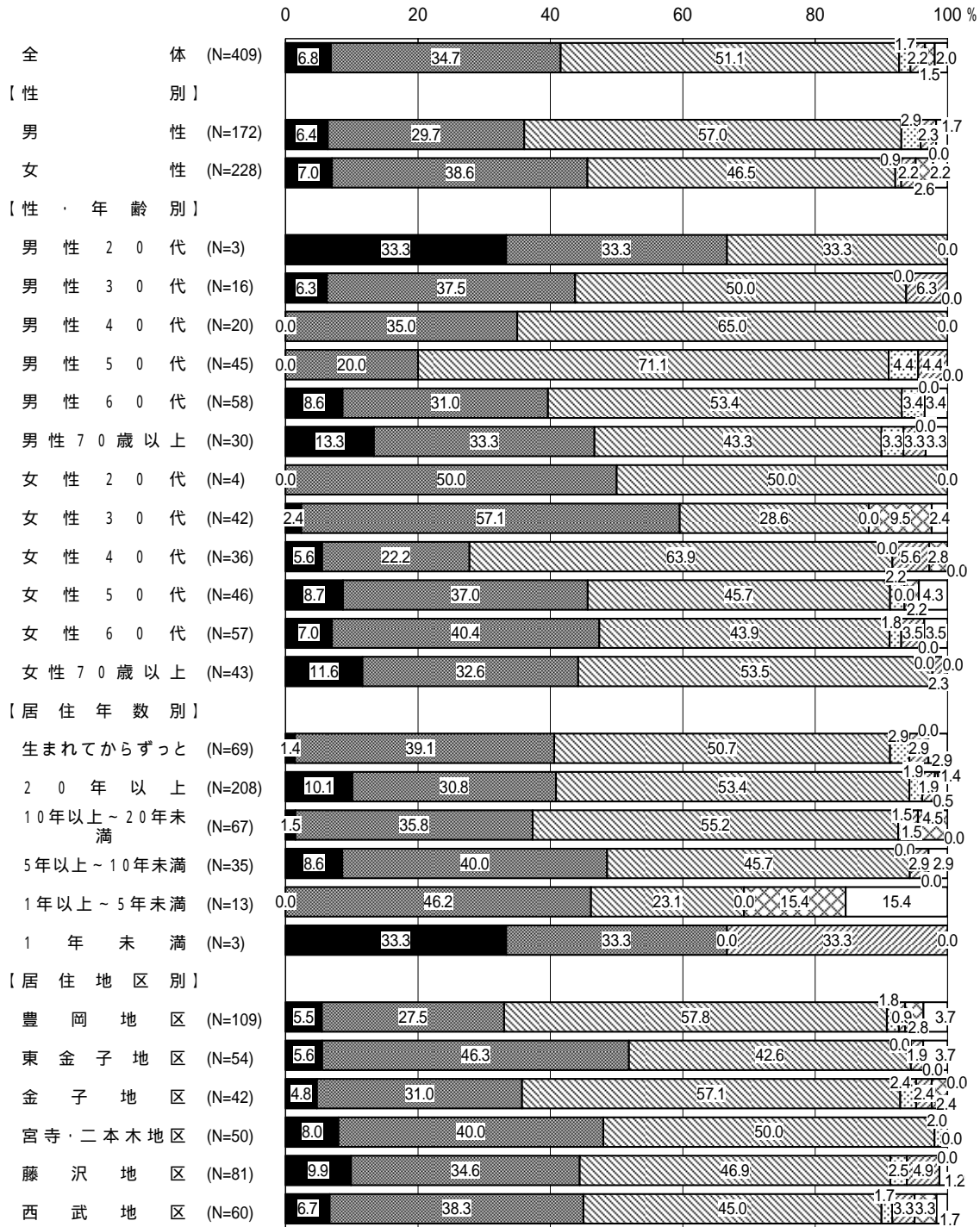


図 32 属性別に見た参加する理由

(12) 消極的な理由

問6-2 (問6で「4」「5」と答えた方に)
地域活動の参加に対して消極的な理由を1つ選んでください。

問6で、522人が「どちらかという、消極的である」または「消極的である」と回答している。その理由として、「忙しくて時間がない」をあげる人が38.5%で最も高かった。これに「参加するきっかけがない」(20.1%)、「地域の人とのつきあいがわずらわしい」(12.3%)が続いている。

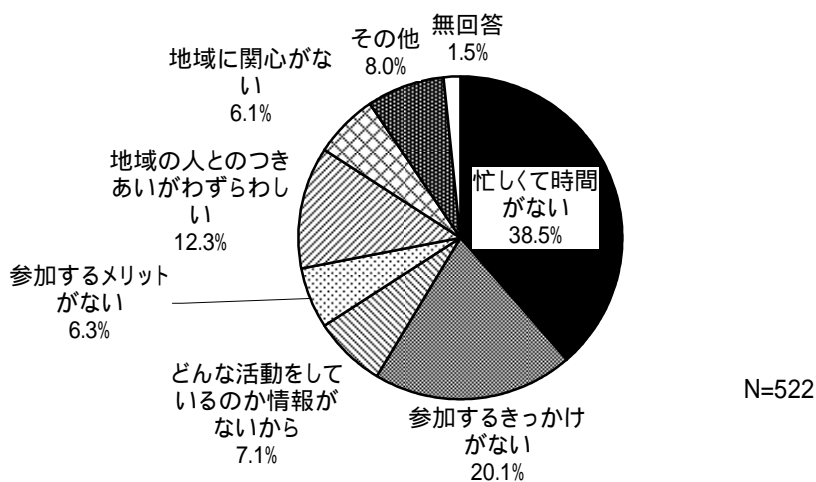


図 33 消極的な理由

【属性別の傾向】

性別・年齢別の「女性・30歳代」(50.8%)が、「忙しくて時間がない」で高い割合を示している。

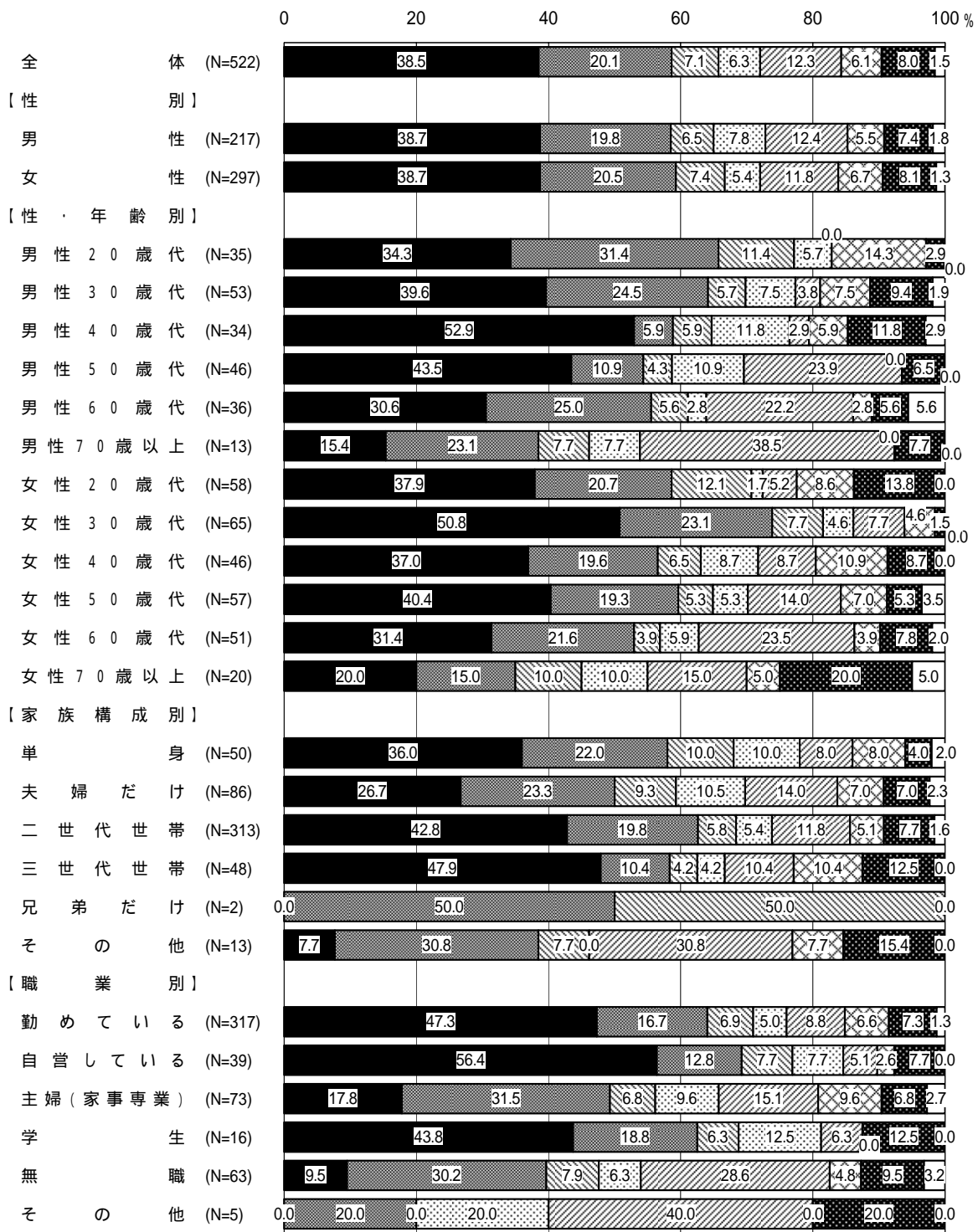
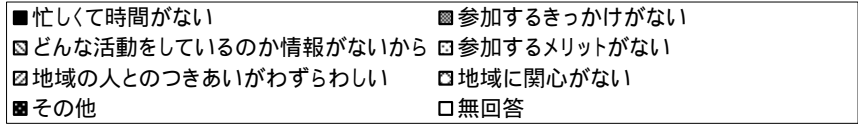


図 34 属性別に見た消極的な理由